

2016年12月27日
株式会社 リクルート ホールディングス

リクルート 妊娠中の部下を持つ管理職向けメールサービス 『カムバ！ボス版』提供開始 部下の妊娠・出産から職場復帰までのマネジメントをタイムリーにサポート

株式会社リクルートホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：峰岸真澄、以下リクルート）は、育児と仕事の両立を支援するリクルートグループの横断プロジェクト「fiction！」（イクション）事務局発のサービスとして、部下の妊娠・出産・職場復帰までのマネジメントをサポートする、管理職向けのメールサービス『カムバ！ボス版』を開発し、本日提供を開始しました。

1. 背景と目的

育児と仕事の両立を支援する取り組みが広がるなかでも、2010～2014年に第一子を出産した女性のうち約半数は、出産前後で、それまで就いていた仕事を辞めています（国立社会保障・人口問題研究所 2016年9月公表「第15回出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）」）。

この状況を受け、育児と仕事の両立を支援するリクルートグループのfiction!プロジェクトでは「妊娠・出産で辞めなくてすむ」を重点テーマの一つと位置付け、取り組みを進めています。2016年2月には、働く女性やそのパートナー向けに、妊娠・出産から職場復帰までをサポートする無料のアプリ『カムバ！』を開発しました。現在、約17,000人の妊婦、パートナーなどが活用しています。

一方で、育児と仕事の両立準備をスムーズに進めるには、上司や同僚、家族などの支援が欠かせません。特に、妊娠中の女性を部下に持つ管理職が、出勤時間の変更や業務調整を行ったり、引継ぎ準備や復帰後の働き方を話し合うなど、部下の妊娠の状況に応じて適切に関与することが重要です。

そこでリクルートでは、働く妊婦本人だけではなく、その上長である管理職への支援も目的に、管理職向けのメールサービス『カムバ！ボス版』を開発しました。

部下の出産予定時期を登録すると、妊娠周期に応じて、母体の状態や症状、働き方に関する留意点、部下の意思を確認すべき点などをメールで毎月2回（原則毎月1日、16日前後の営業日）お知らせします。メールサービスならではのタイムリーさで、管理職と働く妊婦の活躍をサポートします。

2. 概要

- ・ 名称：『カムバ！ボス版』
- ・ 形態：メールサービス
- ・ メールサービス登録サイトURL：<http://comeback.iction.jp/management.php>
- ・ 料金：無料
- ・ メールサービスの内容：
働く女性の妊娠から職場復帰までナビゲーションするアプリ『カムバ！』に掲載している記事を、妊娠中の部下を持つ管理職向けに再編集した内容。

*『カムバ！』は、企業向けの両立支援コンサルティングを行うNPO法人 Arrow Arrow(アローアロー)と協同で開発しました。また、妊娠周期に応じた母体の状況や症状については、日本産科婦人科学会専門医 竹内正人氏の監修を受けています。

3. 特長

- (1)妊婦さんの「働く」に特化した情報をお知らせします
 - ・ 母体の状況や症状、引き継ぎや業務調整、「保活」などについて、職場の上長として理解しておくべき知識や留意点をアドバイスとともにお伝えします。
- (2)妊娠周期に合わせてメールでタイムリーにお知らせします
 - ・ 対象となる部下の出産予定時期を登録すると、妊娠周期(妊娠初期～後期)に合わせて、毎月2回(原則毎月1日、16日前後の営業日)メールで情報をお伝えします。

メールサービス『カムバ！ボス版』
登録サイトイメージ ▶



4. メールサービスのイメージ [妊娠8～9週目、抜粋]

今週で妊娠3カ月に入ります。本人にとっては、つわりが辛い時期ですが、もうしばらくすると徐々にラクになる傾向にあります。この期間を乗り切れるように、勤務時間などの相談があれば柔軟に対応をしていけるといいでしょう。

«妊娠8～9週ってどんな状態?»

◆血液の量が増える&貧血気味になります

妊娠中は赤ちゃんに栄養を送るために、血液の量が増えます。ピーク時の36週頃には妊娠前の1.5倍にまで増えるのですが、その変化はすでに始まっていて、今の段階では妊娠前より5%ほど増えています。ところが血液の増加に対して赤血球の増加は少ないので、貧血気味になっていきます。

◆脳貧血になる人もいます

脳貧血といって、お母さんの脳への血流が一時的に減少することで、立ちくらみを起こす人がいます。ただし、脳貧血といっても、本当の貧血ではなく、自律神経症状です。しばらく休んだり、横になったりしていると、血流が戻ってきて回復します。

◆おなか少しずつぽっこり出てくる人も

子宮は、9週の終わりまでに中くらいのオレンジかテニスボールくらいの大きさになります。妊娠前の鶏卵くらいの大きさからひとまわりかふたまわり、大きくなったと言えます。

«気をつけるポイント»

◆時差出勤の検討を

人ごみが苦手になり、朝の通勤ラッシュがつらく感じる人もいます。そんな場合は、通勤時間をずらす「時差出勤」を提案してみてもいいでしょうか。職場に時差出勤を認める制度がなくても、妊娠中の女性には時差出勤などの変形労働時間制を認めるよう、男女雇用機会均等法で定められています。まずは本人の様子を聞いてみましょう。

◆産前休業前のスケジュールを相談しましょう

妊婦健診や里帰り出産のため、産前休業前の業務調整が必要になることがあります。妊婦健診は週数が進むと回数が増えるため、お休みに入る前にどれくらいの業務調整が必要になるか、あらかじめ確認しておくとうれしいです。「お休みに入るまではきちんと組織に貢献したい」と思っている妊婦さんもいるので、本人の意思も確認・尊重しながら今後の計画を立てるといいでしょう。

【妊婦健診の頻度】

- ・妊娠8～23週→4週間に1回
- ・妊娠24～35週→2週間に1回

5. ご参考

- ・働く妊婦とそのパートナー向けのアプリ『カムバ!』について
http://www.recruit.jp/company/csr/report/20160202_16446.html
- ・iction!プロジェクトについて
<http://www.recruit.jp/company/csr/contribution/iction/>



▲iction!プロジェクト
ロゴ

リクルートホールディングスではこれからも、働く、学ぶ、住む、結婚、育児、旅、車、趣味や暮らし情報など、さまざまな場面でユーザーが新しい発見・機会創出できるサービスを提供し、ひとりひとりにあった「まだ、ここにない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】
<https://www.recruit.jp/support/form/>